

富山県内全域での「花の出前体験教室(フラワーアレンジメント・いけばな・チューリップ球根植付花育体験)」

作成者：富山フラワーネットワーク

■ 実施主体

名 称：富山フラワーネットワーク
担当窓口：富山フラワーネットワーク事務局
所 在 地：富山県富山市掛尾500番地
H P：www.t-chuou-kaki.com



■ 団体等構成

富山県花き生産者協議会、富山県花卉球根農業協同組合、富山県花き仲卸組合
全国農業協同組合連合会富山県支部、富山花き商業協同組合
一般社団法人 日本生花通信配達協会富山支部、富山県華道連合会
公益社団法人 日本フラワーデザイナー協会富山県支部、公益財団法人 花と緑の銀行
株式会社 富山中央花き園芸、富山県

■ 取組地域 富山県内全域

■ 概要

富山県では、全国一の出荷量を誇るチューリップ球根をはじめ、様々な花きを生産しているが、産出額では全国45位と低迷している。一方、消費面では、仏花需要等が堅調で、政令指定都市富山市の切り花購入金額は全国中位であり、若年層や男性を中心に、花きの消費には大きな伸び代が残されている。

このような中、これまで連携が十分でなかった花き業界関係者が一堂に会し、生産から消費までの各種課題の解決に連携して取り組み、それをもって県産花きの生産・供給体制の強化および需要拡大を図ることを目的として、「富山フラワーネットワーク」を設立。富山市公設地方卸売市場花き部の卸業者である(株)富山中央花き園芸が代表となり、県内11団体が参加している。

当ネットワークでは、花や緑のある生活空間とそれに触れることのできる機会を提供し、その活動において地元で生産されている花を紹介することで、より生活に密着した「花」に関心を抱かせることを目的として、フラワーアレンジメントやいけばな、チューリップ球根の植付け体験教室などの「花育」事業を展開している。

取組開始時期・経緯

より多くの子供達に花育活動を広げるため、平成27年度からは当ネットワークを窓口として、保育・幼稚園の年長児から小学生を対象とした「花の出前体験教室」を開催している。

県内の全保育・幼稚園、小学校へ募集チラシを配布し、周知するとともに、教室の様子や感想をHPに公開し、花育活動のPRを実施している。

目的（目標）

平成28年度の活動運営にあたっては、可能な限り、応募校の近隣にある小売店に担当していただき、花育活動を地域に根づかせる。また、花育活動を起点に、子供達が「花の文化」や「花の取り扱い方」を身につけるだけでなく、「地元の花き産地」や「近所の花屋さん」を知ることに関心を持ち、購買世代（親）と将来的な購買層（子）の掘り起こしとなって、需要拡大につながることを期待している。

【平成27年度実績】 幼稚園・保育所（園）25教室、小学校で7教室 （延べ1019人）

【平成28年度目標】 53教室 （延べ1200人）

【取り組み内容】

- 対象者・人数：年長児・小学生 32教室 延べ1,019人（H27年度実績）
- 所要時間：40分程度（実施内容により異なる）
- 対象場所：保育園・幼稚園・小学校・児童クラブ
- 指導者・アシスタント人数：講師1名、アシスタント数名（先生や保育士の方に年長児の場合5人、小学生の場合10人に1人程度のサポートを依頼）

活動内容(指導内容)

1 全体計画・スケジュール及び事前準備

①チラシやHP（富山中央花き園芸内）にて参加校を募集

↓

②応募校の要望等を考慮し、富山フラワーネットワーク事務局より、各構成団体へ出前教室の運営・参加を打診

a フラワーアレンジメント教室 担当

（富山花き商業協同組合、（公社）日本フラワーデザイナー協会富山県支部）

b いけばな教室 担当

（富山県華道連合会）

c チューリップ球根植付け教室 担当

（富山県花卉球根農業協同組合）

↓

③担当講師（運営団体）決定後、応募校に出前教室の受諾を連絡

↓

④担当講師と応募校との事前打合せ

実施日2週間以上前には最低1回実施（必要に応じて数回実施）

当ネットワークが作成した「花の出前体験教室（アレンジメント教室・いけばな教室）作業要領」に基づき、担当講師（地元小売店等）と応募校の先生・保育士が協力して実施できるように、作業分担や当日の流れについて事前に協議する。

2 実施内容の詳細

【平成27年度実績32教室】

教室名	実施場所	
アレンジメント教室	小学校	黒部市1、舟橋村1、富山市2、高岡市1、射水市2、高岡市1、小矢部市1
	保育・幼稚園	立山町3、上市町1、富山市12、砺波市2
チューリップ球根植え付け教室	保育・幼稚園	立山町1、富山市2、高岡市1、氷見市1

【平成28年度予定（53教室）】

教室名	実施場所	
アレンジメント教室	小学校	魚津市1、舟橋村1、富山市2、射水市2、高岡市5、 砺波市1、小矢部市1、氷見市1
	保育・幼稚園	朝日町1、入善町1、立山町4、上市町1、富山市 18、射水市2、高岡市2、砺波市4、南砺市1、小矢 部市2、氷見市1
いけばな教室	保育・幼稚園	富山市1
チューリップ球根 植え付け教室	保育・幼稚園	富山市1

- ・資材や花材は季節やテーマに応じて教室毎に異なるが、花材選択において「富山県産花き」を優先して使用

3 当日の流れ

<クリスマス为主题にアレンジメントを作成した事例（年長児23名が参加）>

■ 資材：切り花用ハサミ（貸出し）

- 花器、吸水性スポンジ
- ワイヤー、竹串・爪楊枝
- リボン・ボールオーナメント、ピック
- お持ち帰り用の袋

■ 花材：ヒムロスギ・姫リンゴ

- ガーベラ・スプレーストック・ヒペリカム



① 準備

- ・保育室の作業机の上に新聞紙を敷く（保育士が実施）。
- ・バケツに鮮度保持剤入りの水を入れ、1人分の材料となる切り花を分けて新聞紙に包み、保育室に並べる。
- ・吸水させたスポンジを器にセットする。
- ・見本となるアレンジを作製し、展示する。
- ・園児の座る席に、切り花以外の材料を置く。

② 富山県で生産されている花の説明

- ・「とやまけんでつくられているおはなポスター」を活用し、季節毎の県産花きの紹介や花の特徴や季節の行事と花の関係などを説明。

③ アレンジメントの<手順1>を説明

- ・利用する草花の名前や特徴を説明しながら、吸水性スポンジへの挿し方、ワイヤーの使い方、



オーナメントの付け方などを説明。

<手順1>

- ・ヒムロスギの枝を揉んで柔らかくした後、表と裏に注意しながらスポンジの両端に挿し、曲げて真ん中をワイヤーで止め、輪にする。
- ・ヒムロスギに、オーナメントを飾り付ける。



④アレンジ開始

- ・園児4～5人に講師又は保育士が1人つき、指導する。
- ・硬くて切れない茎や枝は講師又は保育士が切るなど、安全に配慮する。



⑤アレンジメントの<手順2>を説明し、アレンジ再開

- ・使用する草花の名前や特徴を説明しながら、それぞれの花の切り方や吸水性スポンジへの挿し方などを説明する。

<手順2>

- ・切り花の長さを決め、斜めに切って、スポンジに挿す。
- ・姫リンゴの下部に竹串・爪楊枝を挿し、スポンジに挿す。
- ・クリスマスの飾りに棒のついたピックをスポンジに挿す。
- ・スポンジが見えている部分に、短くしたヒムロスギを挿して隠す。



⑥作品が完成した園児から片付け、掃除

⑦アレンジメントを体験した感想を聞き、今後の管理方法を説明



年長児の作品（完成品）

■ 指導のポイント

- ・ 事前に作品の見本を作成し、子供達に見せながら作品の特徴や使用する花の特徴（県産花きの場合は産地等）を説明し、「花」をより身近に感じられる雰囲気づくりを心がける。
- ・ 作品にはできるだけ季節感（テーマ性）を演出し、作成した作品を介して、子供達の想いや感動を、親・祖父母世代に贈る。

【作品の利用例】学習発表会、保護者参観、卒業式の親への感謝の贈り物など

- ・ 指導にあたっては、年長児の場合5人、小学生の場合10人に1人のサポート体制となるよう、教職員に協力を依頼し、けがや事故がないよう配慮する。

■ 児童・生徒に関心を持ってもらえるように工夫している点

- ・ 多くの子供達が初めて体験する生徒達のため、初歩的な花の切り方や吸水性スポンジの使用法、完成した作品のお手入れの仕方を丁寧に説明する。
- ・ ポスター掲示で見てわかるよう工夫するとともに、プリント配布等により教職員や親世代と情報を共有させる。
- ・ 知っている花の名前や家の庭に咲いている花などの質問を挟み、（保育士に協力していただきながら）飽きさせないように工夫する。

■ 経費

1人当たり2,000円（税込み） 内訳：花材 1,600円・資材 400円

※ただし、国産花きイノベーション事業を利用しているため、現時点では無料

■ これまでの成果

- ・ 多くの子供達は、フラワーアレンジメントが初体験で、花の楽しさを肌で感じていた。特に男子の創造性には目を見張るものがあった等、周囲の教職員・保護者からも高く評価された。
- ・ 平成27年度に実施した体験後のアンケート結果（回答率88%）では、花育活動を継続（75%が実費負担してでも継続）したいとの要望があった。

■ 参加者からの感想（児童、生徒、保護者）

【参加校からアンケートより抜粋（平成27年度実施）】

- ・ とてもよかった。普段、花を生ける機会のない子どもたちは、とても楽しんで真剣に取り組んでいた。作品は学習発表会で展示し、保護者にも好評だった。
- ・ 「花育」のねらいを知り、とても素晴らしい活



お互いに見せ合いっこ
（HP上で写真を公開）

動だと思いました。幼児にも難なく楽しむことができました。

- ・子ども達の自由な発想のもと、一人一人の作品ができてとても良かったです。後日、いただいた花器に花屋さんで買ったものを生けていると聞きました。保護者にも大変好評でした。
- ・平成28年度からは、より多くの方に「花育」体験を知ってもらうため、参加校から写真や感想を提出いただき、出前教室の様子を随時HPに掲載することとしている。

■ 今後の課題やその改善方法

- ・今後も花育活動を継続していくためには、参加費を負担していただき、地域で自己完結可能な運営体制が必要。
- ・「安価でできる手軽な体験教室」に向け、安価な花材・資材の調達方法を工夫するとともにマニュアル化する必要がある。

